

MIYAMA EXPO 3rd

ミヤマエキスポ 2026

協賛・共同パートナー様 募集企画書

～ 里山で世界 15 か国と出会う、子どもたちの一日 ～



- ✓ 過去 2 回開催(2025 年 8 月・2026 年 2 月)
- ✓ 京都新聞・KBS 京都 取材実績
- ✓ 南丹市教育委員会 後援事業
- ✓ 一般社団法人化(2026 年 1 月)

2026 年 5 月

美山まちおこしサークル・一般社団法人「わっしょい」

MIYAMA EXPO とは

里山の子どもたちが、世界約 15 か国の留学生と出会う一日。

過疎化が進む京都の里山と、世界中からの留学生。両者を学生たちの手で結びつけ、子どもたちが「世界とつながり、自分の地域を再発見する」体験を生み出す、京都発の国際交流イベントです。

2

回

過去開催実績

15+

か国

留学生参加

50+

名

子ども参加目標

130

名

運営メンバー

📅 第3回開催決定

- ・日時:2026年7月5日(日)9:30~16:30
- ・会場:CYCLE SEEDS(京都府南丹市美山町和泉)
- ・主催:美山まちおこしサークル・一般社団法人「わっしょい」
- ・参加者:地域の子どもたち約50名/世界15か国以上の留学生約20名/学生スタッフ約30名



なぜこのイベントに意味があるのか

京都市内から車で1時間半、京都府南丹市美山町。茅葺き屋根の集落と豊かな自然が残り、UNWTO（国連世界観光機関）から「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」の認証を受けた、世界が認める里山地域です。しかし、その美山町でも人口減少と地域コミュニティの担い手不足は、年々深刻さを増しています。

一方で、京都市内には世界中から京都大学に学びに来ている数千人の留学生がいます。彼らは日本で深い体験をしたいと願いながらも、観光地としての京都以外の日本の姿、特に里山の暮らしや地域の子どもたちとの出会いに触れる機会を、ほとんど持たないまま卒業していくのが実情です。

MIYAMA EXPO は、この2つの「もったいない」を学生たちの手で結びつける国際交流イベントです。留学生が一方向的に文化を教えるのではなく、子どもたちも自らの地域である美山を留学生に紹介するという「双方向の対等な交流」を実現する設計が最大の特徴。子どもたちが「先生」になる瞬間が、随所に生まれます。

■ MIYAMA EXPO が生み出す3つの価値

<p>① 子どもへの価値</p>	<p>世界に触れる「原体験」と、地域への誇り 中山間地域の子どもが世界15か国の留学生と1日を共に過ごす経験は、教科書のなかの世界が突然「自分ごと」になる瞬間。同時に、留学生に自らの地域を紹介することで、自分が育ってきた場所への誇りが深まります。</p>
<p>② 地域への価値</p>	<p>美山の文化的価値の「再認識」と「発信」 世代間・異文化交流を通じて、地域住民と多様な若者が交わることで、地域コミュニティに新たな活力を生み出します。世界の視点が入ることで、美山という地域の文化的価値を再認識・発信する機会となります。</p>
<p>③ 京都社会への価値</p>	<p>次世代の地域づくり人材の育成と京都ブランディング 京大生を中心とした学生が、ゼロから地域を巻き込み企画・運営する実践的な成長の場。さらに、留学生が京都で得た深い体験は、彼らが母国で京都を語る際の核となり、京都全体の国際的プレゼンスを長期的に高めます。</p>

過去 2 回の実績ハイライト

MIYAMA EXPO は、2025 年から年 2 回のペースで継続開催。地域メディア・行政・京都大学留学生コミュニティとの信頼関係を着実に構築しております。

■ 第 1 回 MIYAMA EXPO「美山ばんぱく」

【開催日】2025 年 8 月 2 日(土)／【会場】CYCLE SEEDS

50 名 子ども参加	17 か国 留学生参加	13 名 学生スタッフ	1 件 メディア取材
------------------	-------------------	-------------------	------------------

📰 メディア掲載

- ・京都新聞(2025 年 8 月 3 日)に取材記事が掲載
- ・南丹市立美山小学校・中学校での全校チラシ配布実施
- ・公式 LINE・HP・Instagram・Facebook で広域告知

■ 第 2 回 MIYAMA EXPO「プチ万博」

【開催日】2026 年 2 月 8 日(日)／【会場】CYCLE SEEDS

15+ か国 留学生参加	16 名 学生スタッフ	1 件 TV 取材実績	1 社 企業協賛
--------------------	-------------------	-------------------	----------------

📺 メディア・協賛・後援

- ・KBS 京都「きょうと Days」(2025 年 11 月放送)にて団体密着取材
- ・協賛企業:株式会社オービット様 / 後援:南丹市教育委員会
- ・記録的な大雪のなか、世界 15 か国の留学生と地域の子ども・住民で実施完遂

「わっしょい」という団体について

MIYAMA EXPO は単発のイベントではなく、年間を通じて美山町と京都の若者を結びつける活動の一環として位置づけられています。協賛企業様には、MIYAMA EXPO 当日だけでなく、年間を通じた多面的な活動を通じて、継続的に貴社の発信機会を提供できます。

■ 団体概要

団体名	美山まちおこしサークル・一般社団法人「わっしょい」
設立	2023 年(任意団体として発足) / 2026 年 1 月 一般社団法人化
代表理事	山口 惇(京都大学)
メンバー数	約 130 名(京都大学を中心とする 10 大学の学生・若手社会人)
活動拠点	京都府南丹市美山町 / 京都市左京区百万遍
後援実績	南丹市教育委員会
メディア実績	京都新聞、KBS 京都「きょうと Days」
協賛実績	株式会社オービット様

■ 年間を通じた多面的な活動

わっしょいは、年間を通じて以下の活動を継続展開しています。

- MIYAMA EXPO: 年 2 回開催の国際交流イベント(夏・冬)
- すくすくプロジェクト: 地域の子ども向け体験教育プログラム(年 34 回以上)
- 農業プロジェクト: 田植え～収穫の稲作体験(2025 年 140kg 収穫、2026 年 250kg 目標)
- 京都大学 11 月祭での販売: おにぎり販売 目標 2500 食→3500 食達成
- カヤゴヤプロジェクト: 茅葺き屋根の移動式トレーラーハウス建設(2026 年 11 月クラウドファンディング予定)

なぜ、京都企業の皆様をお願いしたいか

MIYAMA EXPO は、京都という地で生まれ、京都の若者たちが運営し、京都の留学生と京都府の子どもたちが交流する、まぎれもなく京都発のプロジェクトです。

だからこそ、このプロジェクトを支えていただくのは、東京や国の機関ではなく、京都に根ざした企業の皆様をお願いしたいと考えております。

▶ 協賛が単なる「広告協賛」ではなく「共同パートナーシップ」である理由

わっしょいは、MIYAMA EXPO 当日だけで終わる団体ではありません。年 34 回以上の地域活動を継続しており、協賛企業様の名前は、当団体の発信するすべての媒体(HP、SNS、当日パンフレット、各種広報物)に 1 年間を通じて掲載され、京都の子育て世代、教育関係者、学生、地域住民、メディアの目に継続的に触れます。

過去 2 回の MIYAMA EXPO は、京都新聞・KBS 京都「きょうと Days」に取材いただきました。第 3 回以降も、地元メディアへの露出が見込まれます。京都発の取り組みを応援する企業として、貴社の名前を地域社会に発信していただくことは、貴社にとっての地域ブランディングにも資するものと信じております。

何より、わっしょいのメンバー一同は 20 代前半の若者たちです。彼らが法人化までを成し遂げ、地域と世界をつなぐ事業を継続している姿は、これからの京都を担う人材育成の現場でもあります。協賛を通じて、貴社が「次世代の京都を担う若者を育てている企業」として、長期的なご支援をいただけますと幸いです。

各種協賛プラン

企業様のご関心とご負担感に応じて、4つの協賛プランをご用意しております。各プランのリターンは具体的にイメージしていただけるよう、「いつ・どこで・どのように」を明示しております。

プラン	共同パートナー 20万円	メインパートナー 10万円	サポートパートナー 5万円	フレンドパートナー 3万円
ロゴ掲載	特大(他企業の2倍サイズ)	大	中	小
公式HP掲載	最上部・専用枠	上部・大	中段・中	下部・小
SNS告知	メイン画像で紹介	個別投稿で紹介	まとめ投稿に掲載	まとめ投稿に掲載
ステージ紹介	開会式・閉会式の両方 代表挨拶(5分以内)可	開会式または閉会式 紹介のみ(1分)	—	—
チラシ・パンフ 配布	メイン位置・複数可	受付にて配布可	受付にて配布可	—
サンプリング	会場各所で実施可	受付にて実施可	受付にて実施可	—
会場POP掲示	メイン位置・大判可	中位置・中判	サブ位置・小判	—
振り返り交流会 または美山フィールド ワーク権利	○ (次ページ参照)	—	—	—
写真素材提供	○	○	○	○
感謝状贈呈	○	○	○	○

共同パートナーシップ(20万円)詳細

共同パートナーとしてご参加いただく企業様には、MIYAMA EXPO 3rd をともに創り上げる「最上位のリターン」として、当日の広報・PRに加えて、以下の2つから1つをお選びいただけます。

■ 選択肢 A: 振り返り交流会 + 次回構想会へのご参加

内容

- ・MIYAMA EXPO 3rd 終了後(7月中旬～8月予定)に開催される運営学生・留学生・地域参加者との振り返り交流会へご参加いただけます。
- ・複数の協賛企業様とわっしょい運営層が一堂に会する、企業間ネットワーキングの機会としても機能します。
- ・次回(第4回)の構想や、わっしょいの今後の活動方針について、直接ご意見・ご要望を反映いただける貴重な場となります。
- ・自社の社員様を伴って参加いただくことで、京都大学生との接点形成の場としてもご活用いただけます。

■ 選択肢 B: 美山フィールドワーク・企業向けカスタマイズプログラム

内容

- ・わっしょいが構築してきた美山町とのネットワーク(地域住民・茅葺職人・農家・地域団体)を活用し、貴社の社員研修や新人研修向けに、美山町でのフィールドワーク日帰り(または1泊2日)プログラムをカスタマイズ提供いたします。
- ・例: 地方創生研修、SDGs研修、伝統文化体験、地域コミュニティ理解、リーダーシップ研修など。
- ・実費(食事・宿泊・移動など)は別途実費精算となりますが、わっしょいによるプログラム企画・現地ガイド・参加学生による交流機会の提供は、共同パートナーシップに含まれます。
- ・貴社にとっての価値: 他社では得られない美山町のネットワークへのアクセス、若手社員の地域・社会課題への意識向上、企業の地域貢献活動としての対外発信材料。

物品・サービス協賛のご案内

現金でのご協賛に加え、物品・サービス等によるご協力も大変ありがたく募集しております。企業様それぞれの強みを活かした形で、MIYAMA EXPO にご参加いただけますと幸いです。

■ 具体的な支援例(金銭換算の目安付き)

ご支援カテゴリ	具体的な支援内容例	金銭換算目安
輸送のご支援	京都市内～美山町(約 42km)の往復バス輸送 部分区間の送迎 など	5～15 万円相当
食材・飲料のご提供	当日参加者 100 名分のドリンク、お米、調味料、 各国料理の食材 など	3～10 万円相当
お菓子・景品のご提供	子ども向け参加賞、ノベルティ、お土産用菓子 など	2～5 万円相当
印刷物制作のご協力	当日配布パンフレット 500 部、チラシ 1000 部、 パスポート印刷 など	3～8 万円相当
備品・テントの貸出	テント、長机、椅子、音響機材、プロジェクター など	3～10 万円相当
会場装飾物のご提供	バナー、フラッグ、ステージ装飾、各国国旗 など	2～5 万円相当
ワークショップ材料 のご提供	工作素材、文具、画材、各国体験用の小道具 など	1～3 万円相当
その他サービス協力	プロ写真家による撮影、動画制作、デザイン制作 など	ご相談

リターンについて

ご協力内容に応じて、金額協賛と同様のリターン(会場 POP 掲示、イベント内ご紹介、公式媒体への社名掲載、商品サンプリング、活動写真の共有など)を実施いたします。

詳細はご支援内容と相当する金額に応じて、上記の協賛プランに準じて柔軟に調整させていただきます。

ご検討スケジュール

⚠ 大変恐縮ながら、ご検討の期限についてお願い

MIYAMA EXPO 3rd は 2026 年 7 月 5 日(日)の開催で、印刷物・広報物への協賛企業様ロゴ掲載のため、以下のスケジュールでご検討をお願い申し上げます。

短い検討期間で大変恐縮でございますが、ご理解いただけますと幸いです。

～ 2026/6/初旬	ご検討・お打ち合わせ／ご意向の表明
～ 2026/6/中旬	協賛契約・ロゴデータご提供
2026/6/中旬～下旬	チラシ・パンフレット・HP 等にロゴ掲載開始
2026/7/5(日)	MIYAMA EXPO 3rd 当日
2026/7 月中～8 月	事後レポート提出／振り返り交流会
2026/9 月以降	年間を通じた継続発信(HP、SNS、その他)

■ 最後に

MIYAMA EXPO 3rd は、京都大学生・留学生・地域住民が協力しながら、「里山×国際交流」という挑戦を形にしていくイベントです。

美山という地域で、子どもたちが世界と出会い、多様な人々がつながる場を生み出したい。そんな想いのもと、現在準備を進めています。

本イベントは、多くの方々のご協力によって初めて実現できる取り組みです。京都の企業の皆様にも、この挑戦をともに支えていただけますと幸いです。

■ ご協賛・お問い合わせ先

団体名	美山まちおこしサークル・一般社団法人「わっしょい」
担当者	代表理事 山口 惇(やまぐち あつし)
メール	wasshoi.ku@gmail.com
電話	090-5677-8317(代表理事 山口)
Web サイト	https://wasshoi-ku.com
Instagram	@wasshoi_ku

ご検討いただき、誠にありがとうございます。